

自由に参加できます！

第 42 回明大昆虫セミナー

私の 41 年と 10 ヶ月

その中でのカメムシ類に関する試験研究

清水 喜一 氏

(元千葉県農林総合研究センター, 住友化学 (株))

日時 : 2017 年 4 月 18 日 (火) 17:10~18:50 頃

会場 : 明治大学 生田キャンパス 中央校舎 0310 教室

近年の農業で問題となる数多くの害虫の中でも、カメムシ類は主役を担っていると言えます。特に水稻栽培では斑点米カメムシ類による経済的被害が甚大となっており、ニカメイガやウンカ類に代わる最重要種となりました。大豆の種実や果樹の果実への被害も同様で、人間が利用する部位を直接的に加害することから、カメムシ類は害虫としての重要度が高いと言えます。一方、その形態や色彩、生理・生態の多様性から、カメムシ類は昆虫研究者にとって最も興味深い研究材料のひとつでもあります。

清水喜一氏は、日本で有数の「カメムシに魅了された男」です。試験研究の現場を主戦場としながら様々な種のカメムシと戦い、全国各地で姿を追いかけ、捕らえ、大切に育ててきました。そんな演者が千葉県職員として過ごした 40 年以上の月日を振り返り、次世代を担う皆さんに何を語ってくれるのか……。その『カメムシ愛』、聞いてみませんか？ 奮ってご参加下さい。

問い合わせ : 農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享